



coloconi ノルウェーダイアリー 2010

2011.2 vol.6 増刊号

(2)

1月

北極圏にある北部ノルウェーの冬の夜空に現れるオーロラ。晩秋から早春にかけて、午後6時から午前1時ごろに最も多く見られます。

また、「スキーを履いて生まれてきた」と言われるほど、冬には多くの人々がスキーを楽しみます。



2/19 秋田大学
男女共同参画推進フォーラム

3月

3/5 講演会
「男女共同参画推進を
考える」

講師：
駐日ノルウェー王国大
使館 一等書記官
ドット・バツケ氏

2010年3月5日には、駐日ノルウェー王国大使館 一等書記官 ドット・バツケ氏をお迎えし、ノルウェーの男女共同参画についてお話していただきました。

1988年にノルウェーの男女平等法が改定され、ノルウェーの男女平等法では、「公的機関で4名以上で構成される委員会等はそれぞれ性が構成員の40%以上選出されなければならない。4名以下の場合は両性により構成されなければならない」と定められました。2004年には、政府系企業の取締役会においてもこの制度が導入され、2006年には上場企業にも導入されました。



1981年、初の女性首相の第1次ブルントラント内閣が発足。第2次ブルントラント内閣においては、18の閣僚のうち8人が女性でした。



Petter Foss/MFA Norway
現在のストラテンベルグ内閣は半数が女性閣僚。

両親が合計して3年間の育児休暇を取得できます。有給休暇は1年間で、そのうち10週間は父親が取得すると定められているのが、パイクアウト制です。父親が取得しないと、10週間の有給の育児休暇がなくなります。今では父親の9割以上が取得しています。最近では10週間以上の育児休暇を取得する父親も増えていきます。

※クオータ (quota) ...割り当て



←ノルウェーの春の花、
アネモネ。

05月17日 ノルウェー王国 憲法記念日

1814年5月17日に憲法が制定されたことを祝う憲法記念日。

祝祭は子どもたちを中心に、ブーナッドという民族衣装を着て、パレードをします。オスロの王室のバルコニーからは国王一家が手を振って子どもたちにこたえます。



MFA Norway

4月

4/7 ノルウェー王国
大使館におけるセミナー
「ワーク・ライフ・バ
ランスはビジネス成功
の鍵を握る？」

秋田大学大学院医学系
研究科妹尾春樹教授がセ
ミナーに参加。
ノルウェー・日本両国の
官民から、両国のワーク・
ライフ・バランスについて
講演がありました。

6月

7月

8月

8/20 講演会
「北欧における女性の
社会進出」

講師：
トロムソ大学医学部附属
病院 プレイセラピスト
トーベ・スメスロー氏



9月

9/7 大学間連携合同
シンポジウム「男女共
同参画の現状と課題」

講師：
株式会社リクルート
リクナビ編集長
岡崎 仁美氏

10月

11月

2011.2 vol.6 増刊号

06月23日 聖ハンスの夜 (夏至祭)

北極圏に位置する北部ノルウェーでは、一日中太陽が沈まない「真夜中の太陽」と呼ばれる現象が見られます。

2010年8月20日には、トロムソ大学医学部附属病院のプレイセラピスト、トーベ・スメスロー氏をお招きし、ノルウェーにおける男女平等についての実体験と、プレイセラピーというお仕事についてお話していただきました。

「男女平等と同様に、病院で生活する子どもにも、健康の許す限り、活発で刺激的な生活を送る権利がある。」とお話してくださいました。

▶講演会の様子が秋田魁新報に掲載されました！



育休休暇夫には2カ月に掲載されました！

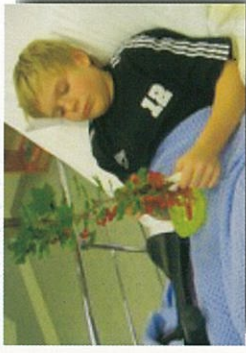


病院の中を
バイクで探検！

▶道化師の格好をした
スタッフと小児患者。



トロムソ大学医学部附属病院
プレイセラピスト
トーベ・スメスロー氏

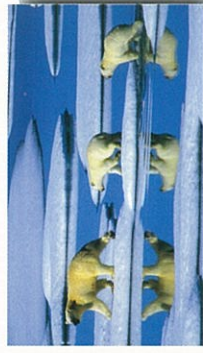


▶外出できない小児患者もベッドの上でベリー摘みを楽しんでいる。



▶病院内で遊んでいる小児患者。左の子は酸素吸入を受けている。

プレイセラピーを受ける子どもたち。病院で入院生活を送る子どもたちも活発で刺激的な日々を送る権利がある。



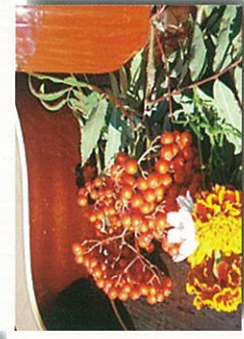
▶夏の氷の上を歩く北極グマの親子の絵葉書。

北極グマの父親は子育てをしないのだとか...

北極グマはノルウェーではスヴァールバル諸島で生息しています。

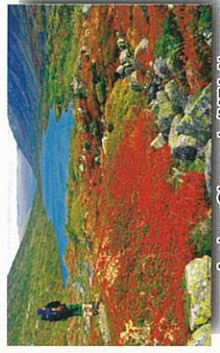


▶ウルネス・スターグ教会の絵葉書。ノルウェー最古のスターグ教会(外観が板張りの木造建築の教会)。



▶晩夏から秋にかけてはベリー摘みの季節です。種類も豊富で、森で摘んできたベリーでジャムや飲み物を作ったりします。

ノルウェーの秋は魚釣りや狩猟が盛んなシーズンです。また、秋の山もとてもきれいで、子どもも大人もアウトドアでレジャーを楽しめます。



Anders Gjengedal/MFA Norway